誠・力・光	令和５年１２月　８日 練馬区立北町中学校 学校だより　１２月号

人を思って

校　長　中嶋　雅彦

先月の３０日は、前日に引き続き暖かな晴天となりました。雷門から宝蔵門に続く仲見世通りは、お土産やおいしそうな食べ物を買い求める人たちで賑わっていました。宝蔵門に急ぐ私は、人とぶつからないように気を配り、お店の様子を眺める余裕もありませんでした。本校、２年生の東京校外学習では、この浅草寺がほとんどの班のチェックポイントでした。子どもたちは、班員同士声を掛け合いながら先生のもとへと進んでいました。

この東京校外学習のスローガンには、実行委員会の補足説明がそのしおりに書かれています。生徒たちは短い言葉から、その真の意味を見つけるだけでなく、実行委員が他の生徒を思って作ったスローガンをより詳細に伝えるためにその補足を行いました。私は、このことから２年生が何としてでも成功させようとする強い意志を感じました。このことから思いを人に言葉で伝える大切さを学び、今後の生活に役立ててほしいと願っています。

また、前日の１年生の川越校外学習では、川越という１つの地域とはいえ、学校の外に出て、班を１つにし、学習活動を行いました。私と、すれ違うたびに、大きな声で挨拶をし、次の見学に向かっていきました。川越市立博物館では、館員の方から「挨拶をしっかりする生徒たちですね。」というお褒めのお言葉をいただいたということです。私は、自分のことのようにうれしく思いました。

今月２５日には２学期の終業式を行い、令和５年も締めくくられることとなります。部活動等が行われるとはいえ、ご家庭や地域へと子どもたちが活動の場を移します。学校では、子どもたちを多くの大人の目で育てていきたいと考えております。地域とのつながりを大切にし、すべての人たちにやさしい学校と地域をつくる人を育成していきます。生徒には、これからの社会を担って活動する者として、譲り合い、人を思って行動していく心をさらに育てていきたいと考えています。

新年に向かい、子どもたちが新たな目標をあげ、大きく成長するように、教職員は気持ちを新たに、自己研鑽し、北町中学校の教育の質を高めてまいります。保護者、地域の皆様には、今年も本校生徒を温かく見守り、ご指導いただき心より感謝いたします。